

10/5
2023年第1471号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
和武 和田
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-hok.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会

歯ぎしりのメカニズム

悪いことばかりではない!? 歯ぎしりの不思議。

市民講座

10月22日(日) 10:30~12:30
保険医協同組合会館5F M&Dホール
+Zoom (ウェビナー)

加藤隆文氏(大阪大学大学院歯学専攻・同副研究科長)が講演

「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会は10月22日、「歯ぎしりのメカニズム」悪いことばかりではない!?歯ぎしりの不思議」をテーマに、市民講座を開催します。講師は加藤隆文氏(大阪大学大学院歯学専攻・同副研究科長)で、誰でも参加可能(無料)です。ぜひご参加ください。

保険でよい歯科診療を
大阪連絡会



「歯ぎしり」は、子どもから高齢者まで多くの世代で見られる現象です。歯ぎしりすると歯が擦り減ったり、欠けた健康で充実した生活を送るために不可欠な「口」の働きですが、睡眠中は機能が減少します。それでも、快適な睡眠を維持する役割も果たすので、睡眠中の「口」機能のバランスが崩れると、眠りや口の健康に悪影響を与えます。



【後援】大阪府・大阪市・朝日新聞社・毎日新聞社

申し込みはこちら



2024年診療報酬改定に向けた保団連歯科改善要求

平尾清司 社保研究部長のポイント解説①

2024年保険改定に向け8月から中央医療審議会(中医協)で議論が始まり「歯科医療(その1)」(在宅医療(その2))が発表された。この発表を受けて保団連では「保団連歯科改善要求」を発売したが、今回の企画では3回にわたり、この保団連要求を解説していく。第1回目である今回は、保団連要求を総論的に解説する。

中医協資料では、か強診や外来環境、歯援診などの施設基準の再編成や歯科衛生士の評価の拡大について検討されている



が、厚生労働省の来年度の概算予算要求などから推測すると、とても十分なものになると思えない。保険改定で定められた保険点数に関しては次の改正までの間、定められた公定価格となる。つまり、2024年点数改定から2年間は、不安定な海外情勢や急激に進む

長年低く抑えられ続けた 歯科医療費

円安によって歯科材料価格がいくらか高騰しようが、この公定価格によって歯科治療行為を行わなければならないことには変わりない。歯科衛生士をはじめデンタルスタッフの慢性的な人員不足は、歯科開業医を悩ませ続ける問題となっている。ここ数年の歯科衛生士学校の増加等によって、国家資格所有者数は微増しているにもかかわらず、高額時給でも応募が来ないという嘆きの声もよく聞く事態に陥っている。

最低賃金の上昇や歯科診療所特有の人間関係の複雑さが原因となり、時給では他業種とは太刀打ちできない時代になってしまっているのではないだろうか。このような、歯科医療を取り巻く様々な問題は長年低く抑えられ続けた歯科医療費に起因すると考えられる。人件費・水道光熱費・原材料費といった固定費の高騰は開業医が「経営努力」でしのいできたが、最早どこまでしがきかないところまで事態は進行している。従来通りの支払い側と医療側との関係で医療の綱引きをするようなシステムでは対応できないくらい事態は深刻化している。点数の操作では、現状を打破できない。歯科医療費の総枠拡大を勝ち取る他に方策はない。

2024年診療報酬改定に向けた保団連歯科改善要求(抜粋)

「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所について」

歯周病安定期治療、歯周病重症化予防治療、Ceまたは歯蝕多発傾向者に対する処置など、どの医療機関でも提供できる技術を施設基準の算定実績にしているが、臨床経験によって安全性を確保する外科手術などは性質を異にしており、算定実績を増やしても「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」との関連性が担保されているものではない。(中略)施設基準は人員、設備等の基準を設けなければ、安全性や水準が保持できないことが明確な場合などに限定すべきである。

「チーム医療について」

歯科衛生士の評価を抜本的に見直すこと。施設基準要件における「歯科衛生士の配置」をもって、歯科衛生士の評価をするのではなく、医学管理、外来診療や在宅診療の補助を行った場合の評価をすること。また、歯科衛生士の専門性の評価を拡大すること。

2023 大阪府交渉

協会は、府民が安心して必要な医療を受けられるよう、医療費助成の改善や口腔保健対策の充実などを求めて、毎年大阪府と交渉している。今年度は、10分野38項目にわたる要望書を取りまとめ、8月22日府へ提出した。要望書の主な内容を連載で紹介する。

高すぎる国保料 引き下げ求める

国によって開始した。しかし、統一すれば保険料は高額化することを、協会も参加する大阪府保協

図1 2022年度大阪府統一国保料と主要自治体との比較

- ①所得200万円の現役40歳代夫婦と未成年の子ども2人の4人世帯
- ②所得80万円の70歳代夫婦世帯
- ③所得100万円の70歳代単身世帯

主要自治体との比較	①	②	③
大阪府統一国保料	412,115	104,152	147,694
東京都新宿区	295,526	72,764	109,108
神奈川県横浜市	262,440	81,869	101,409
愛知県名古屋市	233,760	59,260	110,990

(単位:円)
※中央社会保障推進協議会2022年11月調査をもとに協会が作成

部負担金減免なども廃止させたため、結果として全国一高い国保料と言われるまでになった。(図1参照)府は、「同じ保険料額となる」ことが、「公平」であるとするが、大阪府では大阪市と北摂・豊能地域に第三次救急体制の大病院が集中する。統一化を止め、これまで自治体を取り組んできた保険料軽減策を励ます府政へと変えていく必要がある。(関連3面)

歯界

朝の連続テレビ小説「らんまん」で南方熊楠の名前がでてくる。日本が軍国主義化し、世間に言論統制の空気が忍び寄る中、熊楠は要注意人物とされ、主人公の牧野が大学教授から熊楠と関わらないよう注意される。

明治末期、政府が神社合祀政策を推し進めると、熊楠は新聞や雑誌に反対意見を投稿するとともに、関係各所や大学研究施設に神社林や貴重な自然保護の重要性を書簡で訴えた。熊楠は博物学、民俗学の分野における近代日本の先駆者的存在であり、粘菌の研究などの植物学や生物学にとどまらず、人文科学に至るまで広い分野で多くの論文を発表している。言論統制下、怯む事なく自然科学に裏付けられた主張を貫いた熊楠の姿勢は真の科学者だったといえる。

研究者は科学的根拠に基づいた意見を自由に言える環境が保証されなくてはならない。しかし学術会議への政府の対応をみると、科学への政治介入が危惧される。(N)

要請署名

大幅な診療報酬引き上げを求めています
ネット署名は
こちらから→

